

長野工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	倫理学特論
科目基礎情報						
科目番号	0037		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	生産環境システム専攻		対象学年	専2		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	指定しない。授業において資料を配布する。					
担当教員	嶋崎 太一					
到達目標						
科学技術およびそれに携わる技術者の社会的責任や役割をグローバル規模で理解し、科学技術の直面する倫理的課題について自ら考え、論理的にそれを説明、表現することができる。これをもって学習・教育目標（B-1）および（B-2）の達成とする。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
倫理学理論の基礎を理解できる。	倫理学理論の基礎を十分に理解している。		倫理学理論の基礎を、おおむね理解している。		倫理学理論の基礎を理解していない。	
科学技術のもつ倫理的課題について広い視野から考察できる。	科学技術のもつ倫理的課題について、グローバル規模で十分に考察できる。		科学技術のもつ倫理的課題について、おおむね考察できている。		科学技術のもつ倫理的課題について考察できていない。	
技術者の倫理について主体的に探究し、それを表現できる。	技術者の倫理について主体的に探究し、論理的かつ明晰にそれを表現できる。		技術者の倫理について考え、それをおおむね表現できている。		技術者の倫理について考え、表現することができていない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	倫理学の基礎的な理論について講義した上で、それを踏まえて技術者の倫理について学生自身がプレゼンテーションし、相互に検討する。知識は重要であるが、本科目では倫理的な思考力や判断力を醸成することをねらいとしている。そのため、授業はケース・スタディを用いる。正解のない事例について考え抜くことを通して、倫理的な問題を発見し、省察する力を身につけることができるようにする。					
授業の進め方・方法	・授業方法は講義およびプレゼンテーション、ディスカッションとする。対話によってより高次の答えを見出すプロセスを重視するため、積極的にディスカッションに参加してもらいたい。 ・科学技術の倫理について、ケース・スタディを活用し、相互に検討する。 なお、この科目は、学修単位科目であり、授業時間30時間に加えて、自学自習時間60時間が必要である。事前・事後学習として課題等を与える。					
注意点	<成績評価> ケース・スタディに関するプレゼンテーション（60%）、および学期末レポート（40%）の合計100点満点で（B-1）（B-2）を評価し、合計の6割以上を獲得した者を合格とする。 <オフィスアワー> 木曜日 16:00 ～ 17:00 <先修科目・後修科目> 先修科目は倫理学					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	技術者倫理の意義	技術者倫理の意義について理解する。		
		2週	ケース・スタディのテーマ設定、プレゼンテーションの基本	ケース・スタディに関するプレゼンテーションの方法を理解する。		
		3週	技術者倫理基礎①倫理学の基本理論	義務論や功利主義など、倫理学の基礎的な考え方について理解する。		
		4週	技術者倫理基礎②倫理綱領の意義と限界	技術に関する倫理綱領を概観し、その意義と限界を理解する。		
		5週	技術者倫理基礎③技術者倫理の主要問題	これまでの技術者倫理における主要問題とそれに関する現在の課題について理解する。		
		6週	ケース・スタディ①	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。		
		7週	ケース・スタディ②	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。		
		8週	ケース・スタディ③	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。		
	2ndQ	9週	ケース・スタディ④	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。		
		10週	ケース・スタディ⑤	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。		
		11週	ケース・スタディ⑥	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。		
		12週	ケース・スタディ⑦	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。		
		13週	ケース・スタディ⑧	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。		
		14週	ケース・スタディ⑨	技術者倫理について自ら意見を表明し、討論に参加して考えを深められる。		

		15週	まとめ		授業で扱ったケース・スタディを振り返り，全体を通して議論を深められる.	
		16週				
評価割合						
	試験	小テスト	プレゼンテーション	レポート	その他	合計
総合評価割合	0	0	60	40	0	100
配点	0	0	60	40	0	100